

令和5年度第2回水戸市立博物館協議会

日時 令和6年2月9日（金）

午前10時から

場所 水戸市立中央図書館

3階視聴覚室

議 題

1 報告事項

- (1) 企画展「子どもミュージアム 昆虫の不思議」の結果について
- (2) 特別展「中村光哉の染色 黒の時代ー蠶の仕事ー」の結果について
- (3) 水戸市民会館オープン記念特別展示「市立博物館コレクション展」の結果について
- (4) 令和5年度博物館事業の実施状況について

2 協議事項

- (1) 特別展「江戸氏 ー知られざる水戸の戦国時代ー」の開催について
- (2) 令和6年度博物館の主な事業計画（案）について

3 その他

※ 閉会後に、特別展「江戸氏 ー知られざる水戸の戦国時代ー」の会場をご案内します。

水戸市立博物館協議会委員名簿

(任期：令和4年7月15日～令和6年7月14日)

氏名	役職等
桐原 幸一	茨城生物の会会長
笹目 礼子	県立歴史館特任研究員
川田 寛子	市学校長会代表・柳河小学校校長
河原 将子	市文化振興協議会副会長
中庭 忠	水戸商工会議所副会頭
村山 朝子	茨城大学教育学部教授
安嶋 隆	茨城生物の会副会長
小坪 のり子	県弘道館事務所主任研究員
添田 仁	茨城大学人文社会科学部教授
玉川 里子	学識経験者
塚原 正彦	牛久市議会議員・ みんなのミュージアムうしおくるプロデューサー
林 圭史	鹿島神宮文化研究所上席研究員
藤 和博	県立歴史館首席研究員
藤本 陽子	学識経験者
マーサー川又	市議会代表 (任期：令和5年6月30日～令和6年7月14日)

(順不同・敬称略)

事務局名簿

氏名	役職等
小川 邦明	水戸市教育委員会事務局 教育部 歴史文化財課長
鈴木 雅人	同課 水戸市立博物館長 (自然部門担当)
平澤 尚子	同課 水戸市立博物館 学芸係長
中村 有紀子	同課 水戸市立博物館 学芸員 (美術部門担当)
藤井 達也	同課 水戸市立博物館 学芸員 (歴史部門担当)
坂本 京子	同課 水戸市立博物館 学芸員 (民俗部門担当)
平井 佐知子	同課 水戸市立博物館 会計年度任用職員

報告事項(1) 企画展「子どもミュージアム 昆虫の不思議」の結果について

1 会期

令和5（2023）年7月25日（火）
～8月27日（日）まで（30日間）

※水戸市の学校の夏休みは7月21日（金）からはじまるが、市立博物館コレクション展の展示替え後の公開とあわせ、25日からの開始とした。

2 概要

- ・ 展示資料数：1,077点
- ・ ワークショップ：昆虫塗り絵2種

昆虫の誕生はおよそ4億5,000万年以上前といわれており、人類よりはるか昔から地球の様々な環境に適応し、生息域を広げてた。いまや種類がわかっている地球上の生きもののうち、半分以上を昆虫の仲間が占めている。一方で、自然環境の変化により生息数が激減し、絶滅が危惧されるようになった昆虫もいる。

今回の展覧会は、市立博物館で所蔵する昆虫標本を中心に展示し、様々な昆虫の生態を発信することで、子どもたちに自然への興味をもってもらうことを目的とした。

そのためまず、昆虫の化石や古代昆虫メガネウラの模型で、大昔の昆虫の起源を紹介した。

続いて、様々な環境に適応した姿を紹介するため、写真パネルや標本で昆虫の体のつくりの特徴や他の生きものとの違いを紹介した。

さらに、昆虫が備える様々な能力を紹介した。

- ・ 卵から生まれ、幼虫の時期と成虫の時期で食事も生活環境も変わる「完全変態」
- ・ 小さい体、短いライフサイクルのため、むしろ環境に適応することができた生存戦略。
- ・ 環境や食べものによって、翅が発達したり、口の構造が変わったりした。

なお、対象年齢にあわせて文章表現や文字数、ルビ等を工夫するほか、視点の低さを補うための足場の設置、擬人化したキャラクターのイラストによる紹介、大型パネルを背景に記念撮影できるフォトスポットなど、子ども連れの家族で楽しめる工夫をした。

3 入場者数

3,458人（内訳） 幼児：826人、小中学生：979人、高校生28人、
一般：1,565人、65歳以上60人

4 来場者満足度 ※ データは「10 アンケート集計結果」を参照 89.4%（回答者57人のうち、「満足」「やや満足」と回答した割合）

5 関連行事の結果

(1) チョキチョコキ昆虫クラフト作り

講師：鍋嶋通弘氏（ペーパークラフト作家）

内容：ペーパークラフト6種

日時：7月29日（土）10:30～11:30、13:00～14:00

会場：中央図書館3階視聴覚室

参加者：42名



【企画展ポスター】

(2) 自然観察会「夏の昆虫観察会」

講師：佐々木泰弘氏（茨城県環境アドバイザー）

内容：昆虫採集と標本作製

日時：7月30日（日）9：00～15：00

会場：逆川緑地, 千波市民センター

参加者：26名

(3) 紙工作に挑戦

講師：高村晴幸氏（博物館ボランティア）

内容：紙工作3種

日時：8月5日（土）10：00～12：00

会場：中央図書館3階視聴覚室

参加者：22名

6 アンケート集計結果（回答者数：57人）

(1) 回答者について

① お住まい

水戸市内	22人	
市外（県内）	22人	ひたちなか市, 那珂市, 城里町ほか
市外（県外）	5人	東京都荒川区, 栃木県佐野市, 千葉県成田市ほか
無回答	8人	

② 性別

男性	23人	女性	28人	無回答	6人
----	-----	----	-----	-----	----

③ 年齢

9歳以下	9人	30代	7人	60代	0人
10代	16人	40代	13人	70代以上	2人
20代	2人	50代	3人	無回答	5人

④ 交通手段（複数回答あり）

電車	5人	タクシー	0人	その他	0人
バス	3人	自転車	6人	無回答	5人
自家用車	39人	徒歩	7人		

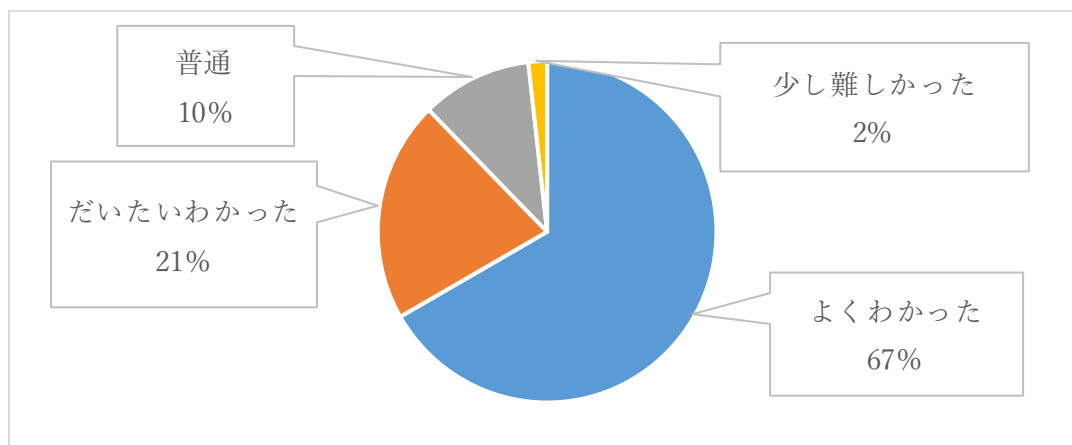
(2) 展覧会の広報について

① この展覧会を何でお知りになりましたか？

ポスター	10	雑誌・タウン誌	2
チラシ	29	テレビ・ラジオ	0
広報みと	6	人から聞いて	3
ホームページ	5	博物館・図書館に来てみて	5
SNS	0	その他	3
新聞	0	無回答	0

(3) 今回の展覧会について

① 今回の展覧会の内容についてどう感じましたか



② 今回の展覧会の満足度はどうでしたか？

満足	43	やや不満	0
やや満足	8	不満	1
普通	5	無回答	0

③ この展覧会に対するご意見やご感想をお聞かせください（一部抜粋）

・ その生きものの写真や説明があり、とてもわかりやすかった。私はもともと虫が嫌いだったが、この展覧会で興味が持てた。(10代 女性)

・ 写真スポット（アゲハチョウ）が良かった。セミの鳴き声をゆっくり聞いたのも良かった。(30代 女性)

・ 外国の珍しい虫を並べるものになりがちな企画だが、身近にいる虫を丁寧に取り上げて改めて目を向けさせる点が良かった。(50代 女性)

・ ワークショップのハサミは、先端が丸くなっているものがよかった。

・ 顕微鏡をのぞくための踏み台はあったが、子どもを対象にした展示としては、展示物の位置が高く、文章が読みにくい。もっと低くしてほしい。

・ ワークショップの塗り絵用に、クレヨンがあった方が良かった。

・ 生きた虫の展示もあるとなおよかった（10代～40代 3名）

・ 種類が少ない（年代 性別 無回答 2名）

・ 体験（虫とのふれあい等）イベントを入れてほしい（40代 男性）

(3) 博物館について

① 今まで博物館に来たことはありますか？

よく来る	2	あることを知らなかった	11
何度か来たことがある	25	無回答	6
あることは知っていたが、来たことはなかった	13		

② 水戸市立博物館の魅力度についてどう思いますか？

魅力的	28	やや魅力不足	0
やや魅力的	13	魅力不足	0
普通	9	無回答	0

③ 来館のきっかけは何ですか？

常設展に興味があった	4	他の用事のついでに立ち寄った	6
展覧会に興味があった	35	無回答	5
無料だったから	7		

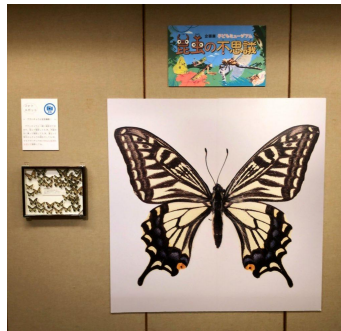
④ 今後開いてほしい展覧会について（一部抜粋）※複数回答あり

自然	
地域について	湧き水 水辺の生きもの 3 水戸の動物・植物
種別	魚類（魚類 1, 深海生物 3,） 両生類・は虫類, 昆虫（生きている虫の展覧会 1） 恐竜 8 キノコ 絶滅動物 哺乳類（哺乳類 1, 人体 2, 地域猫 1）
歴史	民俗
幕末の江戸	鉄道（ローカル線）や車
古墳	妖怪

⑤ 博物館の全体的な展示、施設、運営などについて、ご意見やご希望がございましたらお聞かせください。

- ・ 障害児を連れてきたので、駐車場からの移動が大変でした。屋内はエレベーターも広く快適でした。(30代 女性)
- ・ 戦時中のことも知ることができてよかった。(10代 女性)
- ・ ワークシートのおかげで子どもが飽きずに展示が見られるので、助かります。

7 会場図



報告事項(2) 特別展「中村光哉の染色 黒の時代－蠟の仕事－」の結果について

1 概要

水戸ゆかりの染色作家・中村光哉（なかむら・こうや、1922－2002）は、友禅染めの人間国宝・中村勝馬（1894～1982）を父に持ち、自身もモダンな作風の友禅作家として知られている。

しかし、昭和30年前後から昭和50年代半ばにかけては、独自の芸術表現を求め、溶かした蠟で防染する「ろう染め」に取り組んだ。作家はこの技法を用いて、黒を基調に、楽器や遊園地、直線や曲線による抽象表現、雲や炎など、さまざまなモチーフの作品を制作した。この時期は、後に作家自身の言葉で「黒の時代」と呼ばれ、後に回帰する友禅染めへの礎となった。

本展は、中村光哉の「黒の時代」の作品を中心に展示し、その魅力と、作家の生涯と業績を紹介する内容とした。冒頭で父・中村勝馬について紹介し作品を1点展示し、中村光哉については、モチーフの変遷に沿って、ろう染めの作品を33点（館蔵品25点、借用品8点）展示し、友禅染めの作品も2点（館蔵品1点、借用品1点）展示した。

また、ネクタイ32点（父親等との共同制作の作品を含む）を図案と共に展示して、多彩な創作活動の一部を示したほか、スケッチブックや下絵、試作品、制作風景の写真等も展示し、制作における熱心な研究の様子も窺える内容とした。同時に、会場内で取材映像（常陽藝文センター制作）も上映し、制作の様子や作家の言葉を映像と音声によっても紹介した。写真パネル等も含め、展示総数は118点であった。

染色作家・中村光哉について、作品の魅力と生涯について触れ、郷土で顕彰すべき作家として、改めて光を当てることができた。

2 会期

令和5年10月21日（土）～11月26日（日） 合計32日間（休館日を除く）

3 主催及び会場

水戸市立博物館

4 入場者数

999人

一般	702人
小・中学生	42人
高校生	0人
幼児	2人
65歳以上	231人
障害者等	22人

5 関連行事実施結果

(1)講演会「ろう染めと絵画性～中村光哉「黒の時代」作品から～」

中村光哉のろう染め作品の特色について、技法と画面構成に着目して考察した内容をお話しいただいた。また、講師が東京藝術大学で作家から指導を受けた際の印象に残った出来事等についてもお話しいただいた。

実施日時：令和5年11月11日(土) 13時30分～15時

定員：40名

会場：3階視聴覚室

講師：戸矢崎 満雄(神戸芸術工科大学教授)

参加者数：32名

(2)ギャラリートーク (学芸員による展示解説)

実施日時：令和5年10月28日(土)・11月3日(金・祝)・19日(日)

各日11時～11時30分/14時30分～15時

会場：4階展示室

講師：博物館職員

参加者数：53名

10月28日 11名(午前7名・午後4名)

11月3日 11名(午前6名・午後5名)

11月19日 31名(午前15名・午後16名)

6 アンケート集計結果 (回答者数：47人)

(1)展覧会を知った手段について (複数回答)

ア ポスター	5人
イ チラシ	11人
ウ 広報みと	5人
エ ホームページ	0人
オ SNS (ツイッターなど)	1人
カ 新聞	1人
キ 雑誌・タウン誌	0人
ク テレビ・ラジオ	1人
ケ 人から聞いて	5人
コ 博物館・図書館に来てみて	12人
サ その他 (サークル活動/散歩)	6人

(2)①展覧会の内容について

ア よくわかった	24人
イ だいたいわかった	15人
ウ 普通	2人
エ 少し難しかった	2人
オ 難しかった	1人
無回答	3人

(2)②展覧会の満足度

ア 満足	37人
イ やや満足	7人
ウ 普通	1人
エ やや不満	0人
オ 不満	0人
無回答	2人

(3)今後開いてほしい展覧会について

- ・ 「昭和」に関する展示
- ・ 水戸に絡んだ本（作家でも可）
- ・ 戦後からの街の風景の移り変わり
- ・ 出久根太郎（1944年行方市生まれの小説家）についての展示
- ・ 水戸市内の大きな神社の歴史について（例：飯富町の大井神社）
- ・ 岡本太郎氏
- ・ 水戸の歴代の食べ物についての展覧会
- ・ 水戸にゆかりのあるアニメ・マンガの展覧会
- ・ 見て分かる水戸学
- ・ 郷土水戸に関する特別展
- ・ 江戸末期～明治（1860年代～1912?）の水戸の町や生活
- ・ 工芸の展示

(4)①来館の頻度

ア よく来る	8人
イ 何度か来たことがある	23人
ウ あることは知っていたが来たことはなかった	6人
エ あることを知らなかった	7人
無回答	3人

(4)②博物館の満足度

ア 満足	23人
イ やや満足	17人
ウ 普通	4人
エ やや不満	0人
オ 不満	0人
無回答	3人

(4)③来館のきっかけ

ア 常設展に興味があった	3人
イ 企画展・特別展に興味があった	33人
ウ 無料だから来た	4人
エ 他の用事のついでに立ち寄った	5人
無回答	2人

(5)①お住まい

・水戸市内	30人	【県外】	
・ひたちなか市	1人	・春日部市	2人
・那珂市	1人	・横浜市	1人
・東海村	2人	・横須賀市	1人
・笠間市	1人	・市外(詳細不明)	2人
・桜川市	1人	・無回答	2人
・鉾田市	1人		
・つくば市	1人		
・取手市	1人		

(5)②来館の交通手段

ア 電車	3人
イ バス	4人
ウ 自家用車	20人
エ タクシー	0人
オ バイク	0人
カ 自転車	7人
キ 徒歩	8人
ク その他	3人
無回答	2人

(5)③性別

男 性	15人
女 性	26人
無回答	6人

(5)④年齢

9歳以下	2人	30代	4人	60代	9人
10代	0人	40代	6人	70歳以上	14人
20代	2人	50代	6人	無回答	4人

(6)展覧会と博物館に対する意見・感想(抜粋)

- ・ 館蔵品が数多くあるのに驚いた。
- ・ 今回の展覧会で中村光哉さんの作品を初めて知った。紅型にも影響を受けた作品もあることを知った。「染め」の世界の奥深さ、表現力に驚かされた。
- ・ 初めて知った作家だったが、その高い芸術性に驚き、もっと再評価されるべきではないかと思った。
- ・ 今回中村光哉については何も知らなかったが、水戸藩と少し関係があると知り驚いた。
- ・ この方については知らなかったが、構図(図案)、色彩が想像以上に素晴らしく来て良かった。
- ・ 初めて知ることができ、とても興味をもてた。抽象化されるモチーフが素晴らしい。

- ・ 父の友禅染めとはまったく違った現代的なデザイン性に感動し、すべての作品に驚くばかりだった。
- ・ 藝大で中村先生に教わった。久しぶりに先生にお会いできたようで嬉しかった。ろう染めの作品をよくよく見たのは初めてで、先生の原点がわかった気がした。
- ・ 中村光哉氏の黒の時代の充実した展示を楽しめた。構成力・線の面白さが勉強になった。ネクタイの展示も興味深い内容だった。
- ・ 主に黒を中心とする作風がシックな雰囲気醸成を醸成して見えていて惹かれた。
- ・ 作品との距離が近くみごたえがあった。
- ・ デザインに興味があるのでとてもためになった。
- ・ 大変素晴らしい企画、構成で見応えがあった。桜川市で真壁藍を研究するグループ9名を案内したがみなさん大変喜ばれていた。広く広報周知され、水戸にゆかりのある方の活躍をもっと沢山の方に知っていただきたいと感じた。
- ・ 中村光哉さんのろう染めの素晴らしさや取り組みの仕方が良く分かった。映像を見て、染め物をより多くの人に見てもらい、残していきたいという気持ちが伝わってきて感動・感激した。本人に会うことは叶わないが、作品を色々見て勇気をもらえてとてもよかった。
- ・ 光哉さんの作品が大胆ダイナミックでありながら、構図等に工夫が見られ、変化していく様子や、その創作の背景が映像も共にあり、面白く楽しい展示だった。郷土の関係者であることもわかり、嬉しく思った。
- ・ 年譜が詳しくてよかった。戦争の影響については何も語らなかったのか(従軍経験)。
- ・ ろう染めに関する基本的な解説(図表付)があるとさらに作品に対する見方に深みがあるのでのではないかな。もう少し人に届く広報をしないともったいないと思う。
- ・ 会場が狭いと感じた。もっと広い空間に展示してほしい。展示室の面積がもう少し広ければ良いと思った。
- ・ 入館無料は良い。
- ・ 職員の方々が親切な対応で感心した。これからも利用したい。
- ・ 2階の常設展も関心のある内容で楽しみ。
- ・ これからも良い企画を希望したい。開館は9時にしてほしい。

報告事項(3) 水戸市民会館オープン記念特別展示

「市立博物館コレクション展」の結果について

1 概要

本展は、水戸市民会館オープン記念として、博物館がこれまで築いてきたコレクションのなかから、戦国時代から近現代までの貴重な資料を4期にわたり展示し、多くの方々に水戸の文化にふれる機会を提供することを目的として開催した。

2 会場

水戸市立博物館（水戸市大町3-3-20） 3階展示室（入場無料）

3 会期及び来場者

令和5年6月10日（土）～令和6年1月8日（月・祝）

来場者計：6,857人

	テーマ・期間	内容等
第1期	江戸から近代へ 水戸の作家たちの軌跡 6月10日（土） ～8月27日（日）	江戸から近代までの水戸ゆかりの作家による、絵画と彫刻を展示した。 ※第1期途中、企画展（7月25日から）にあわせて展示内容を変更 展示資料：50点 来場者：4,246名 展示解説：7月26日（水）実施，9名参加
第2期	新発見「水戸鈴木家文書」から見る徳川家康 9月9日（土） ～10月9日（月・祝）	水戸藩家老の家に伝わった「水戸鈴木家文書」と鈴木家関連資料を展示した。 展示資料：23点 来場者：917名 展示解説：9月17日（日）実施，26名参加 歴史講座：10月1日（日）実施，38名参加
第3期	墨に夢を乗せて 画家・林十江の世界 10月21日（土） ～11月26日（日）	江戸時代に活躍した水戸出身の画家・林十江の作品を展示した。 展示資料：12点 来場者：1,147名 展示解説：11月5日（日）実施，6名参加
第4期	個性豊かな美の世界 近現代の作家たち 12月9日（土） ～令和6年1月8日（月・祝）	近現代の水戸ゆかりの作家による、日本画と金工の作品を展示した。 （加倉井和夫「塔」等） 展示資料：13点 来場者：547名 展示解説：12月17日（日）実施，3名参加

4 主な展示資料

【第1期】

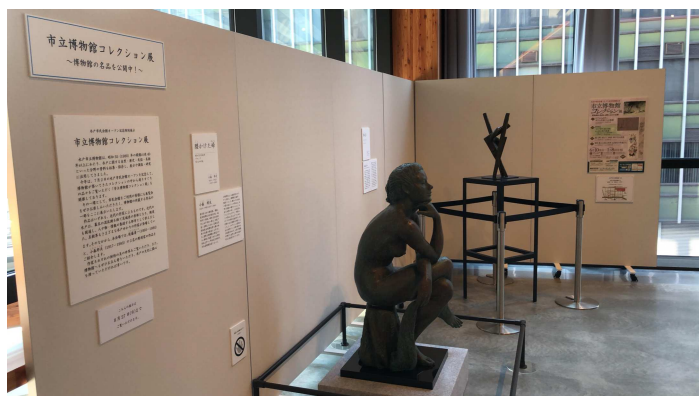
(1) 6月10日(土)～7月22日(土)

No	作者名	作品名	備考
1	狩野 興也	旭日に波図	市指定文化財
2	東皐 心越	牡丹図	
3	櫻井 雪館	龍虎蝦蟇仙人図	
4	月僊	鍾馗図	
5	立原 杏所	雪中小禽柳下水禽図	市指定文化財
6	立原 杏所	春江漁舟図	
7	五百城 文哉	日光陽明門	
8	五百城 文哉	晃嶺群芳之図	市指定文化財
9	中村 彝	静物(玉葱)	
10	辻 永	ガラス器などのある室内	
11	木内 克	足をあげる女	
12	後藤 清一	幼影	
13	小森 邦夫	益子六郎肖像	
14	寺門 幸蔵	室内静物	
15	中村 彝	静物(芍薬)	
16	辻 永	かのこゆり	
17	辻 永	なつぎく	
18	辻 永	やまももさう	
19	辻 永	ぬまとらのを	
20	辻 永	ひめじょをん	
21	辻 永	くり	
22	辻 永	えぞのこりんご	
23	辻 永	ぶどう	

(2) 7月25日(火)～8月27日(日)

水戸市民会館2階にも彫刻を展示し、あわせて市立博物館への経路図も掲示した。

No	作者名	作品名	備考
1	小森 邦夫	腰掛けた婦(おんな)	
2	後藤 清一	構成B	



(3) 7月25日(火)～8月27日(日) ※第1期は、会期中で展示替えを行った

No	作者名	作品名	備考
1	東臯 心越	鍾馗図	
2	櫻井 雪館	布袋・寿老人図	
3	櫻井 雪保	旭日老松図	
4	萩谷 遷※喬	鷹図	※「遷」の字は込無し
5	横山 大観	水温む	
6	五百城 文哉	日光東照宮陽明門と神輿舎	
7	五百城 文哉	高山植物写生図 タカネバラ	
8	五百城 文哉	高山植物写生図 ハマギク	
9	五百城 文哉	高山植物写生図 チシマギキョウ	
10	五百城 文哉	高山植物写生図 キバナノホトトギス	
11	中村 彝	静物(玉葱)	
12	辻 永	玻璃器などのある室内	
13	木内 克	足を上げる女	
14	後藤 清一	幼影	
15	小森 邦夫	益子六郎肖像	
16	寺門 幸蔵	室内静物	
17	中村 彝	静物(芍薬)	
18	辻 永	つるれいし	
19	辻 永	きんぎょさう	
20	辻 永	あめりかせんのう	
21	辻 永	てんぢくあふひ	
22	辻 永	なつめ	
23	辻 永	かうぞ	
24	辻 永	きりんさう	
25	辻 永	とこなつ	

【第2期】

9月9日(土)～10月9日(月・祝)

No	状態	資料名	備考
1	卷子	今川義元朱印状	水戸鈴木家文書
2	卷子	今川氏真書状	水戸鈴木家文書
3	卷子	今川氏真書状	水戸鈴木家文書
4	卷子	伝徳川光圀鷹場宛行状	水戸鈴木家文書
5	卷子	井伊直政書状	水戸鈴木家文書
6	卷子	大久保長安書状案	水戸鈴木家文書
7	掛軸	今川氏真感状写	水戸鈴木家文書
8	絵図	主図合結図(吉田城/岡崎城/浜松城/高崎城/彦根城)	5点
9	掛軸	徳川頼房黒印状	水戸鈴木家文書
10	掛軸	徳川義直書状	水戸鈴木家文書

No	状態	資料名	備考
11	縦帳	水城金鑑（寛文規式帳）	
12	縦帳	御在国中聞書	
13	絵図	水戸城下絵図（青焼きコピー）	
14	縦帳	常磐公園攬勝図誌	
15	縦帳	宝永太平記	
16	掛軸	恵比寿・大黒図	
17	絵図	浜田村絵図	
18	縦帳	石河明善日記	2点

【第3期】

10月21日（土）～11月26日（日）

No	作者名	作品名	備考
1	林 十江	夜梅図	
2	林 十江	鷹図	
3	林 十江	飛鷹図	
4	林 十江	水鶏図	
5	林 十江	蜻蛉図	水戸市指定文化財
6	林 十江	鶴鴿図	
7	林 十江	人物図	
8	林 十江	帰漁図	
9	林 十江	野菜売図	
10	林 十江	蓮図	
11	林 十江	葦図	
12	林 十江	雷公釣鼓図	

【第4期】

12月9日（土）～令和6年1月8日（月・祝）

No	作者名	作品名	備考
1	海野 美盛（二代）	群犬図	
2	松平 雪江	水亭洗熱	
3	横山 大観	浦風	
4	下村 観山	加倉井砂山肖像	
5	小川 芋銭	河童	
6	鈴木 霞村	雨中捕魚	
7	山田 みのる	仁和寺の僧	
8	山田 みのる	七福神	
9	加倉井 和夫	塔	
10	海野 勝珉	耕織図花瓶	金工
11	海野 勝珉	観音像	金工
12	北川 北仙（初代）	獅子舞図花瓶	金工
13	北川 北仙（初代）	雪松図花瓶	金工

報告事項(4) 令和5年度博物館事業の実施状況について

【I 資料の収集について】

1 寄贈資料（寄贈者名は敬称略）

(1) 自然部門

No.	資料名	点数	寄贈者
1	鳥の巣	1	木村敏之
2	昆虫標本（ドイツ箱13箱）	1式	菅より子
3	カマキリの抜け殻	1	益子英夫
4	ハイタカ	1	杉山靖夫
5	化石 （恐竜の卵の殻片・亀の甲羅片）	2	非公表

(2) 歴史部門

No.	資料名	点数	寄贈者
1	鮭の留網漁で使った鈴	2	中村盛昭
2	絵葉書	15	海野富男
3	高射砲90mm砲弾薬莖	1	内田理
4	鮭漁に用いたヤス	1	中村盛昭
5	那珂川の鮭漁の写真 ほか	5	黒沢則子
6	塙家資料	11	塙融
7	杉本五郎『大義』	1	栃木敏男
8	郡司家旧蔵資料	6	関敬
9	絵葉書	8	平山美登里

(3) 民俗部門

No.	資料名	点数	寄贈者
1	茨城交通バスの乗車券 ほか	35	菅井直也
2	包装紙 ほか	49	清水邦明
3	団扇 ほか	44	水野瑞樹
4	キセル ほか	36	塙融
5	マッチ（ボックス型・ブック型）	1式	菊地隆夫
6	東海研究所のしおり ほか	5	川崎貞
7	ジンマートのホッチキス	1	菅井英夫
8	主要食糧購入通帳	1	後藤敦子

(4) 美術部門

No.	資料名	点数	寄贈者
1	木内克作「座像」	1	(株)セントメディアケア 代表取締役 久保田啓藏

2 寄託資料（寄託者名は敬称略）

部門	資料名	点数	寄託者
美術	中村光哉作 「楽器」（四曲一隻）・「楽器」	2	学校法人上野学園

3 取得資料

部門	資料名	点数
自然	カルガモ斃死体	1

【Ⅱ 資料の保存について】

1 資料の修復

部門	資料名	内容
歴史	「水戸城下絵図」 1紙	欠損部分の補紙, 裏打ち直し等
	「徳川光圀書簡」 3点 (卷子装)	

2 設備等の修繕

修繕箇所	内容
4階収蔵庫系統 加湿・除湿機	機器交換

【Ⅲ 資料の展示・活用について】

1 常設展

部門	テーマ	期間
自然	水戸のいきもの	通年
歴史	テーマ1 旅・観光から見る水戸の歴史 テーマ2 戦争に行った者たち	通年
民俗	『何を願って, どう戦った!!』 -戦時下の暮らし-	通年
美術	水戸の美術Ⅰ テーマ1 近現代の彫刻家たち テーマ2 稲田三郎の抽象版画	令和5年9月9日～ 10月1日
	水戸の美術Ⅱ テーマ 近現代の洋画 -人物を描く-	令和5年12月9日～ 令和6年1月8日

【民俗部門常設展示 関連行事】

平和キャラバンが行く！

- ① 「何を願って, どう戦った!! -国策紙芝居と実物資料で知る戦争-」
期日・場所 7月22日(土) 13:00～16:00 三の丸市民センター
参加人数 39人
 - ② 「何を願って, どう戦った!! -パールハーバーを知っていますか?-」
期日・場所 12月9日(土) 13:00～16:00 三の丸市民センター
参加人数 32人
- ・国策紙芝居の実演, 戦争関連の絵本の朗読
(見澤淑恵氏・次世代に伝えたい朗読と紙芝居のオリーブ)
 - ・国策紙芝居の解説と実物資料の解説(玉川里子氏・坂本京子)
 - ・お楽しみ工作教室(博物館ボランティア)

2 教育普及事業

(1) 学校連携事業

① 体験講座・見学等

内 容	校数	内 訳	人数	備 考
むかしの道具の実体験講座 と博物館見学	8	小学校 8		1月～2月 実施予定
博物館見学	2	小学校 1	35	
		中学校 1	21	
博物館実習	2	大学 2	3	
職場体験	2	中学校 2	3	
合 計	14		62	

② 学校への資料の貸出

部 門	校数	内 訳	資 料 内 容
歴史部門	3	高等学校 2	戦争関連資料（手榴弾，艦砲射撃弾の破片，焼夷弾，千人針，日章旗等）
		大学 1	
民俗部門	1	小学校 1	プール竣工のしおり 他 14点 （常磐小創立150周年記念展にて展示）
合 計	4		

(2) 一般向け事業

① みと歴史講座

テーマ	期 日	講 師	参加人数
「水戸鈴木家文書」を読む — 家康の自立から水戸藩家臣団の誕生まで —	10月1日	藤井達也	38人
石河明善日記をよむ — 日記に見る激派と鎮派 —	12月2日	笹目礼子氏	36人
水戸の芸妓たち — 発祥・隆盛・衰退，そして今 —	12月16日	額賀せつ子氏	39人
合 計			113人

② 自然観察会

テーマ	場 所	期 日	講 師	参加人数
春の植物観察会	逆川緑地	5月1日	浜口喜夫氏 浜口悦子氏	14人
夏の昆虫観察会	逆川緑地	7月30日	佐々木泰弘氏	20人
秋の植物観察会	逆川緑地	10月8日	浜口喜夫氏 浜口悦子氏	20人
冬芽・葉痕の観察会	逆川緑地	1月14日	浜口喜夫氏 浜口悦子氏	12人
野鳥観察会	大塚池	2月3日	後藤俊則氏	
合 計				66人

③ その他の講座

講 座 名	期 日	講 師	対 象
令和5年度基本研修第1部課程 前期研修「水戸の歴史」	4月13日	藤井達也	令和5年度 水戸市新規採用職員58人
中世都市水戸の成立 －水戸と江戸氏－	5月26日	藤井達也	常磐市民センター 常磐歴史研究会会員21人
水浜電車とその歴史	6月6日	藤井達也	下大野高齢者大学受講生 35人
令和5年度茨城県市町村歴史民俗 資料館連絡協議会第1回研修会	10月6日	藤井達也	茨城県市町村歴史民俗資 料館連絡協議会加盟館職 員 14人
令和5年度高齢者福祉講座 「水戸城とその歴史」	11月8日	藤井達也	茨城県年金協会会員33人
源氏物語女人絵巻 八 －最愛の女人との別れ …そして 雲隠－	1月17日	坂本京子	五軒女性教養講座受講生 13人
合 計			174人

(3) ぴ～すプロジェクト

① わたしは戦争を忘れない ー戦中・戦後を生きてー

日 時：令和5年8月2日（水） 14:00～16:00

8月15日（火） 14:00～16:00

講 師：2日…田添洋子氏・大谷岩男氏

15日…住谷定氏・鈴木瑛一氏

会 場：みと文化交流プラザ 6階大会議室

参加者数：2日 72人，15日 56人

② 「私たちが受け継ぐ戦争の記録 ーつなげ、過去と未来 東京と水戸ー」

東京大空襲・戦災資料センターとの共催により、Zoomによる生配信のオンライン開催で実施した。東京と水戸の中学生・高校生・大学生が自分たちの街が経験した戦争や空襲を伝えることに挑戦した。空襲体験記や戦争にまつわる詩を朗読するとともに、戦争体験者、オンラインによる参加者も交えて語り合うことで、戦争の実態を学び、体験の継承を考える機会を提供した。

開催前の7月25日（火）から27日（木）にかけて、参加する中学生・高校生向けの事前指導として、戦争体験者のお話の聴講、舞台俳優による朗読ワークショップも開催した。

日 時：令和5年8月19日（土） 13:00～16:00

会 場：水戸…水戸中央教会（水戸市大町）

東京…戦災資料センター 映像講話室（東京都江東区）

朗読者、戦争体験者以外の一般視聴者は、Zoomを利用したオンラインによる参加

参加者数：朗読者水戸23人（水戸一高附属中・水戸女子高・水戸工業高・茨城大）

東京8人（中村高）

戦争体験者1人、

一般視聴者19回線

(4) 博物館資料「石河明善日記」刊行事業

① 石河明善日記解説定例会

19回開催予定。

3 資料の貸出等

(1) 資料の貸出（学校を除く）

部 門	件数	内 訳	資 料 内 容
自然部門	1	東海村立図書館	昆虫標本 10箱・写真パネル 5枚
歴史部門	1	茨城県立歴史館	水戸浪士追討絵図 他4点
美術部門	1	東京都美術館	辻永作品 99点

(2) 写真・画像使用の許諾（資料貸出に伴うものを除く）

部 門	件数	内 訳	資 料 内 容
美術部門	1	印刷物掲載 1	・櫻井雪保 板戸絵「龍図」「虎竹図」2点 (大井町役場発行の広報紙の連載記事「大井の文化財」)

部 門	件数	内 訳	資 料 内 容
歴史部門	15	研究・講座等 5	<ul style="list-style-type: none"> ・青門肖像 1点 (日新塾跡日本遺産認定8周年記念講演「加倉井砂山と初代川崎八右衛門」) ・昭和11年水戸市航空写真 1点 (弘道館・茨城県立図書館共同開催「紙芝居とお話で伝える水戸空襲と弘道館」) ・「水戸市全図(大正12年)」 他 2点 (『令和4年度 遺跡整備・活用研究集会報告書「近世・近代における旧跡・名所の保存顕彰」) ・「水戸御城下絵図」(宝暦11年～) 他 2点 (見和図書館 第4回歴史講座) ・井伊直政黒印状 1点 (卒業論文)
		印刷物掲載 3	<ul style="list-style-type: none"> ・水戸城三階櫓の画像 他 4点 (水戸観光コンベンション協会「水戸の城下町マップ」) ・武石浩波と飛行機(特別展図録P31) (水戸第一高等学校 校内案内リーフレット) ・水戸城下絵図 他 5点 (自費出版の同人誌)
		その他 7	<ul style="list-style-type: none"> ・弘道館図 1点 (大洗町幕末と明治の博物館第10回企画展「ふじき たけきー徳川斉昭のブレーン藤田東湖の魅力に迫るー」) ・錦絵 耕雲斎筑波山籠 1点 (JR東日本「歴史講談 水戸漫遊」) ・常陸山全身写真 他 3点 (富山県民生涯学習カレッジ 郷土学習教材) ・空襲後の水戸駅前 他15点 (平和教育動画株式会社のYoutube及びTiktokチャンネル) ・下市病院画像 1点 (中野リウマチ膠原病クリニックホームページ) ・水府浪士追討絵図 他 3点 (『常陽藝文』2005年12月号 電子書籍化) ・水戸城三階櫓古写真 1点 (石川県金沢城調査研究所 研究紀要のインターネット公開)

協議事項(1) 「江戸氏 ー知られざる水戸の戦国時代ー」の開催について

1 名称

特別展「江戸氏 ー知られざる水戸の戦国時代ー」

2 開催趣旨

1430年代に水戸城に入った江戸氏は、天正18年(1590)に佐竹氏によって滅ぼされるまでの間、160年近くにわたり水戸の地を拠点とした。江戸氏は水戸に基盤を置くと、水戸を取り巻く交通・流通網を掌握するとともに、水戸の地を都市として整備した。また、江戸氏は地域寺社の保護に務め、その援助のもとで独自の地域文化が花開くことにもなった。

しかし、水戸徳川家の時代に比べ、江戸氏時代の水戸を明らかにする資料は少なく、戦国時代の水戸がどのような姿であったのかよくわかっていない。そこで、本展覧会では、戦国時代の水戸及びその周辺地域で重要な役割を果たすこととなった江戸氏の姿を、地域に残された資料から明らかにしていく。戦国時代の領主として地域に大きな足跡を残した江戸氏の動向を通じて、戦国時代の水戸の様相を広く知ってもらうことを目的とする。

3 会期

令和6年2月3日(土)～3月10日(日) 32日間

休館日 月曜日及び2月13日(火)

※2月12日(月・休)は開館

4 会場

4階・3階展示室

5 主な関連行事

(1) 特別講演会

日 時：2月25日(日) 13:30～15:00

会 場：みと文化交流プラザ6階大会議室

定 員：100名

講 師：泉田邦彦(石巻市博物館学芸員)

(2) 講演会①「江戸氏と府中合戦」

日 時：2月18日(日) 13:30～15:00

会 場：3階視聴覚室

定 員：40名

講 師：森木悠介(東海村立図書館司書)

(3) 講演会②「江戸氏一族の戦国時代」

日 時：3月2日(土) 13:30～15:00

会 場：3階視聴覚室

定 員：40名

講 師：藤井達也

協議事項(2) 令和6年度博物館の主な事業について

(1) 特別展等の開催

- ア 特別展・企画展等を年3回開催して、郷土の歴史や文化、自然に対する新たな視点からの興味・関心を呼び起こし、市民文化の向上に努める。
- イ 展覧会の関連行事など博物館外での活動を実施して、展示の補完に努める。

- ・令和6年度展示予定
- 企画展 そらを飛ぶ生きものたち（自然部門）
- 秋季特別展 常陸山生誕150年記念展示（歴史部門）
- 冬季特別展 今日の水戸の美術Ⅳ（美術部門）

(2) 収藏品等による常設展の開催

- ア 調査・研究・展示等に活用するため、郷土に関する自然・歴史・民俗・美術等の資料の収集に努める。
- イ 新たに収集した資料の公開を積極的に行うなど、常設展の展示内容の充実に努める。

- ・常設展の展示替え：5月下旬～6月上旬（全部門）
9月・12月・令和7年3月（美術部門）

(3) 博物館資料「石河明善日記」刊行事業の推進

- ア 「石河明善日記」の解説作業を進めるとともに、第6巻（26～30冊）の刊行に努める。

- ・解説定例会：19回開催予定

(4) 学校等との連携事業の推進

- ア 小学校等の校外学習を受け入れて、むかしの道具の実体験講座を実施するほか、出前授業や資料の貸出を行うなど、学校教育との連携に努める。

- ・見学・体験講座の受入れ、出前授業、資料の貸出、職場体験：学校からの要請に応じ実施
- ・博物館実習生の受入れ：8月上旬に実施予定

(5) 各種教育普及事業の推進

- ア 戦争体験者による語り部事業「わたしは戦争を忘れない」を実施し、平和の大切さを伝えるとともに、記憶が風化しないよう記録に努める。
- イ 自然観察会等、博物館外での活動を実施し、市民が楽しむことのできる教育普及事業の充実に努める。

- ・「わたしは戦争を忘れない」：継続開催予定
- ・自然観察会：引き続き年5回開催予定
- ・みと歴史講座：引き続き年3回開催予定

参考

○水戸市立博物館条例

昭和55年3月28日

水戸市条例第21号

改正 昭和56年3月27日条例第20号

平成4年9月22日条例第27号

平成24年3月28日条例第15号

令和5年3月27日条例第17号

注 平成24年3月から改正経過を注記した。

(趣旨)

第1条 この条例は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第1項の規定に基づき、博物館の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(令5条例17・一部改正)

(設置)

第2条 市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館を次のとおり設置する。

名称 水戸市立博物館

位置 水戸市大町3丁目3番20号

(職員)

第3条 水戸市立博物館（以下「博物館」という。）に館長、学芸員、事務職員その他必要な職員を置く。

(観覧料等)

第4条 博物館の入館料は、無料とする。ただし、水戸市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が期間を定めて特別の展示会を催したときは、教育委員会が定める観覧料を徴収することができる。

2 教育委員会が特に必要があると認めるときは、前項の観覧料を減額し、又は免除することができる。

3 既納の観覧料は、還付しない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(損害賠償等)

第5条 入館者は、博物館の施設、設備又は博物館資料を損傷し、又は滅失したときは、速やかに原状に復し、又は市長が定める損害額を賠償しなければならない。ただし、市長が特にやむを得ない理由があると認めるときは、この限りでない。

(博物館協議会)

第6条 博物館法(昭和26年法律第285号)第23条第1項の規定に基づき、水戸市立博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

(令5条例17・一部改正)

(組織等)

第7条 協議会は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験者のうちから、教育委員会が任命する15人以内の委員をもって組織する。

2 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠により任命された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 協議会に、委員の互選により委員長及び副委員長を置く。

4 委員長は、協議会の会務を総理する。

5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(平24条例15・一部改正)

(会議)

第8条 協議会は、委員長が招集し、委員長は、会議の議長となる。

2 協議会は、委員の2分の1以上の出席がなければ開くことができないものとし、協議会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委任)

第9条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

付 則

この条例の施行期日は、教育委員会規則で定める。

(昭和55年教委規則第11号で昭和55年6月15日から施行)

付 則(昭和56年3月27日条例第20号)

1 この条例は、公布の日から施行する。

2 この条例による改正後の水戸市立博物館条例第6条第2項の規定により任命された委員の任期は、同条第3項の規定にかかわらず、1年とする。

付 則(平成4年9月22日条例第27号)

この条例は、平成4年10月1日から施行する。

付 則(平成24年3月28日条例第15号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

付 則(令和5年3月27日条例第17号)

この条例は、令和5年4月1日から施行する。